

加藤亮太郎 作陶展

2020
7月18日(土) ↓ 26日(日) 9時〜18時
ガレリア織部



織部茶盃
Φ100 × h80 mm



織部俎皿
D230 × W405 × h60 mm

加藤亮太郎 陶歴

- 一九七四年 七代加藤幸兵衛の長男として生まれる
- 二〇〇〇年 京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻修了
- 二〇〇一年 家業の幸兵衛窯に入る
- 二〇〇二年 倒壊式窯を自ら築く
- 二〇〇七年 個展（松坂屋名古屋店）'10, '13, '16, '19
- 二〇〇九年 個展（大阪高島屋）'12, '15, '19
- 二〇一〇年 個展（しずや黒田陶苑）'11, '13, '15, '17, '19
- 二〇一二年 個展（日本橋高島屋）'15, '18
- 越後妻有アートトリエンナーレ
- 二〇一四年 ミノセラミックスナウ（岐阜県現代陶芸美術館）
- 二〇一五年 パラミタ陶芸大賞展（パラミタミュージアム）
- 二〇一五年 幸兵衛窯 八代目を継承
- 二〇一六年 幸兵衛窯歴代展（古川美術館）
- 父子展（日本橋三越）'20
- 二〇一七年 PANK 工芸（楽翠亭美術館、茨城県陶芸美術館）
- 引出用穴窯を築く
- 二〇一八年 天然無釉ろ（INAXライオンミュージアム）
- 志野三昧（岐阜県美術館）
- CASA Gifu III (Miran Salone, Italy)
- 融合する工芸（銀座和光）
- 興福寺中金堂落慶法要にて千宗屋師による
献茶道具として奈良三彩天目を制作
- 二〇一九年 個展「十茶会」(Goldmark Gallery, UK)
- 幸兵衛窯歴代展（つしん美濃陶芸美術館）
- 茶々折りと楽しみ（古川美術館）
- 二〇二〇年 個展（東京アメリカンクラブ）



ガレリア 織部

〒507-0038 岐阜県多治見市白山町2-222
http://oribe-minoyaki.com/

お問合せ・ご予約 TEL:0572-56-8830

◆トークイベント「織部とは」 原 憲司（陶芸家）× 加藤亮太郎
7月19日（日）14時～（電話予約制・先着20名様）

◆作家による呈茶（随時）

作家は会期中在廊いたします。

※都合により変更になる場合がございます。

※防疫対策を万全にしております。

※敬称略

このたび、ガレリア織部におきまして、加藤亮太郎作陶展を開催させていただきます。

加藤亮太郎先生は、美濃の名窯幸兵衛窯に生まれ、京都市立芸術大学大学院修了後、主に立体造形に取り組みました。

多治見に戻られてからは、伝統に正面から立ち向かい、自ら窯を築き、穴窯焼成の志野や引出黒を中心とした桃山陶に邁進され、特に茶碗の制作に力を入れておられます。

地元多治見で初めての個展となる今展では、これらの作風に加えて、独自の技法である椿手や窯変織部、新たに取り組まれている書と陶が融合した織部などの意欲作を発表いただきます。

これからの美濃を牽引する気概に溢れた作品を、この機会にぜひご覧いただきますよう、ご案内申し上げます。

ガレリア織部



引出黒茶盃 Φ115 × h105 mm



志野茶盃 Φ125 × h80 mm

加藤亮太郎 作陶展

2020

7月18日(土) ↓ 26日(日)

9時 ~ 18時

ギャラリー織部



織部茶盃

Φ100 × h80 mm

◆トークイベント「織部とは」 原 憲司(陶芸家)×加藤亮太郎
7月19日(日)14時～(電話予約制・先着20名様)

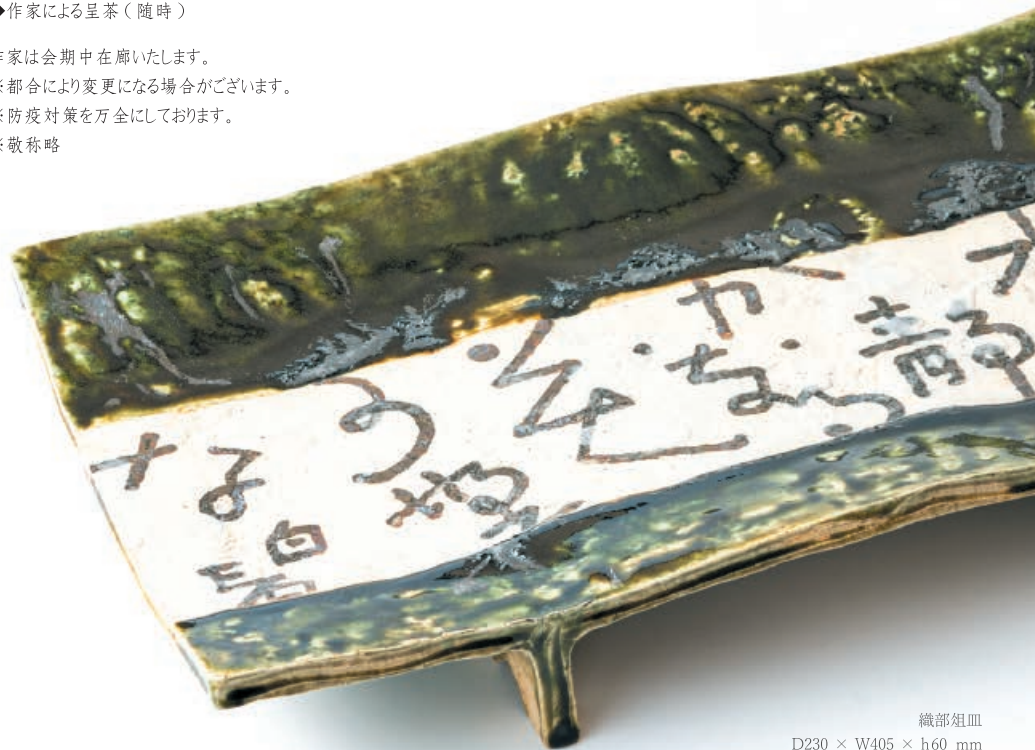
◆作家による呈茶(随時)

作家は会期中在廊いたします。

※都合により変更になる場合がございます。

※防疫対策を万全しております。

※敬称略



織部俎皿

D230 × W405 × h60 mm

加藤亮太郎 陶歴

一九七四年 七代加藤幸兵衛の長男として生まれる

二〇〇〇年 京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻修了

二〇〇一年 家業の幸兵衛窯に入る

二〇〇二年 倒焰式窯を自ら築く

二〇〇七年 個展(松坂屋名古屋店) '10, '13, '16, '19,

二〇〇九年 個展(大阪高島屋) '12, '15, '19,

二〇一〇年 個展(ふや黒田陶苑) '11, '13, '15, '17, '19,

二〇一二年 個展(日本橋高島屋) '15, '18,

越後妻有アートトリエンナーレ

二〇一四年 ミノセラミックスナウ(岐阜県現代陶芸美術館)

二〇一五年 パラミタ陶芸大賞展(パラミタミュージアム)

二〇一六年 幸兵衛窯八代目を継承

二〇一六年 幸兵衛窯歴史代展(古川美術館)

二〇一七年 PANK 工芸(樂翠亭美術館、茨城県陶芸美術館)

二〇一七年 引出用穴窯を築く

二〇一八年 天然黒くろ (INAX ライフミュージアム)

二〇一八年 志野三味 (岐阜県美術館)

二〇一八年 CASA Gifu III (Miran Salone, Italy)

二〇一八年 融合する工芸(銀座和光)

二〇一八年 興福寺中金堂落慶法要にて千宗屋師による

二〇一八年 献茶道具として奈良三彩天目を制作

二〇一八年 個展+茶会 (Goldmark Gallery, UK)

二〇一八年 幸兵衛窯歴史代展(とっしん美濃陶芸美術館)

二〇一八年 茶ノ折りと楽しみ(古川美術館)

二〇一八年 個展(東京アメリカンクラブ)

